

商業 科 学習指導計画案

指導教員 \_\_\_\_\_ 先生 ㊟

・学校名 \_\_\_\_\_ 高等学校 \_\_\_\_\_ 実習生 \_\_\_\_\_ ㊟

・日時 2018年6月6日(水曜日) 第5校時 場所 1年7組(教室)

・対象 1年7組(生徒数:男子21名、女子19名;合計40名)

・単元名 \_\_\_\_\_ 有価証券の取引 \_\_\_\_\_

・単元の主たる内容と目標

有価証券とはどのようなものなのかを知り、その意味や種類、取得時や売却時の基本的な取引の記帳方法について理解する。

・単元の指導計画(配当時数および本時の位置づけ)

有価証券の取引(1時間 有価証券の意味や種類、取得と売却の基本的な取引の仕訳や記帳方法を学ぶ。)[本時]  
有価証券の取引(1時間 有価証券の基本的な取引の仕訳や記帳方法を復習し、問題を解き理解する。)

・本時の主題名 \_\_\_\_\_ 有価証券の取引(1時間目) \_\_\_\_\_

・本時に使用する教材・教具

(新簿記 新訂版 実教出版、標準検定簿記問題集 全商3級 東京法令出版、教材プリント )

・本時の目標

有価証券の取得と売却についての仕訳を理解させる。  
プリント学習をすることで理解を深める。

<教材観・題材観>

有価証券とはどのようなものなのかを生徒にも分かりやすいように噛み砕いた表現で伝えることが大切である。また、教科書の表や図などを用いて学習することで問題の内容を感じやすく、理解を深めやすい。

<生徒観>

まだ商業科目を学習し始めたばかりの生徒が大多数であり、簿記の知識は未熟であるといえる。自ら学ぶという意識が強い生徒が多く、わからない問題は友人同士や先生に質問をし、理解を深めようとしている。

<指導観>

商業科目を学習し始めた生徒ばかりであり、簿記の知識は未熟であるといえる。いかに解りやすく親しみやすい表現をするかが指導のカギといえる。そのためプリントを用いることで生徒に有価証券について正しく理解をさせ、問題を解くことで簿記への知識を深めたいと考える。

・本時の評価の観点

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
有価証券の取引への関心を持ち、自ら勉強をしようという姿勢がある。	有価証券の取引を、自ら考え適切な判断を行い、仕訳をしようとする。	有価証券の取引について学んだことを活かし、類似問題を解き、計算方法などを習得している。	有価証券の取引の仕訳や記帳方法に関する基本的な知識を身に付け、問題から仕訳や計算方法を理解することができる。

・本時の指導課程

	指導項目	指導内容	学習活動		指導上の留意点	時間
			教師のはたらきかけ	生徒の学習活動		
導入	・前時の復習	・固定資産の取引 ・小テスト	前時の授業で固定資産の取引について問題集から確認する。固定資産の売却時の仕訳をもう一度確認する必要があることを伝える。	前時の授業内容を問題集で確認しながら振り返る。	前回の授業内容を覚えていない人でもわかるような振り返りを行う。	3分
	・本時の内容を提示	①有価証券の意味 ②有価証券の取得と売却	本時の内容を提示し、本時の目標を述べる。	本時の内容を確認する。		
展開	①有価証券の意味	・有価証券の種類(5分)  ・有価証券はなぜ発行するのか。(5分)	有価証券は3種類あることを提示する。 有価証券はなぜ発行するのかを二つの観点から説明する。	有価証券は3種類あることを理解する。 板書からプリントの説明をし、有価証券を発行する理由を理解する。	有価証券の種類について簡潔に述べる。 プリントを用い説明をし、板書は見やすく工夫する。	42分
	②有価証券の取得と売却	・有価証券の取得(5分)  ・有価証券の売却(5分)	有価証券はどういうときに購入するのかと、グラフを提示し、株式は変動があることを説明する。 有価証券を売却した時、差額を有価証券売却益または有価証券売却損の勘定科目を使う。	有価証券を購入する理由や株式は変動があることを理解する。 有価証券の売却時に有価証券売却益または有価証券売却損の勘定を使うことを知る。	実際のグラフを用いることで、目に見てわかるようにする。 有価証券を売却したときに収益が発生したのか、費用が発生したのかを理解しやすい説明をする。	
		・プリント問題 1.2.3 (10分)	プリントの問題 1.2.3を生徒に発問し、答えを求めていく。	プリント問題 1.2.3を教師の発問に答えながら求める。	生徒がわかることから一つ一つ整理し、仕訳を完成させる。	
		・問題集 P.90 16-1, P.92 16-4, 16-5, 16-6	左記の仕訳を生徒に発問し答えを求めていく。	問題集の仕訳を教師の発問に答えながら求めていく。		
整理	本時の授業内容の振り返り  次時予告	①有価証券の意味 ②有価証券の取得と売却  ・問題集 P.92 16-5, 16-6, P.93 16-7 ・小テスト	本時の内容を教科書や問題集で確認させ、口頭で振り返る。 次時が問題集のP.93, P.91と有価証券の取引の小テストであることを提示する。	教師とともに教科書や問題集で本時の内容を振り返る。 次時の授業内容を確認し、予習をする。	理解の定着度を確認する。  ・次時の授業で行う内容は本時の復習のため確認しておくよう伝える。	5分